



# 学校だより

令和8年4月7日  
横浜市立仏向小学校  
4月号

## 子どもの安心につながる指導体制で

校長 佐藤 裕二

春休み中も、満開の桜のもと、放課後キッズクラブの子どもたちの元気いっぱいな声が校庭に響いていました。

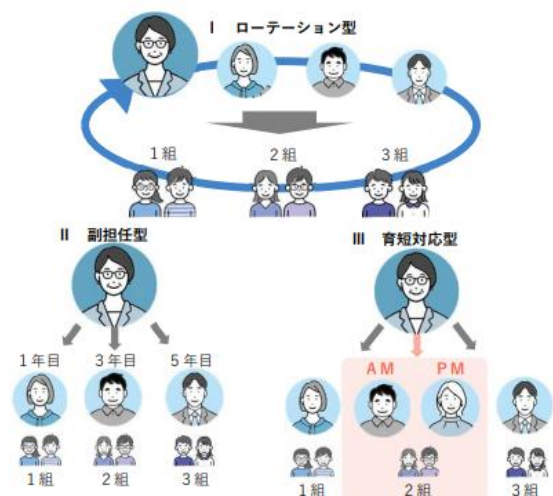
このたび、泉区西が岡小学校より着任いたしました佐藤裕二です。仏向小学校の子どもたちが、ひとみをキラキラと輝かせて、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、本校職員はもちろん、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて学校経営をしていきます。

横浜市では、「第5期横浜市教育振興基本計画」を発出し、令和8年度から令和11年度までの4年間における学校教育のアクションプランを示しました。ここには、4年間で実現する様々なプランが記されていますが、その中の1つが今年度から全小学校で展開することになった「チーム担任制」というものです。

これまでも「教科分担制チーム学年経営」を仏向小学校でも実施し、ひとクラスの授業を学級担任だけが担当するのではなく、複数の教員が担当することで、チームで子どもたちの見守れる体制を整えてきました。このようにすることによって、子どもたちにとっては自分が話しやすい教員を選んで相談できるようになっています。また複数の教員がかかわることで、多面的に子どものよさを見とることができるような指導体制となっています。

それでも「教科分担制チーム学年経営」では、一人の教員が1年間ひとクラスを担当するという点では従来と変わっていませんでした。今回の「チーム担任制」では、そこからもう一歩進み、授業以外の担任業務についても複数の教員で行っていくものです。右のように、教育振興基本計画では、「I ローテーション型、II 副担任型、III 育短対応型」の3つの型が例示されています。本校では、5年生と6年生に「副担任型」を取り入れ、3つのクラスの副担任として担任と一緒に学級経営に関わっていくことにいたしました。今後も、子どもたちの状況を見ながら、柔軟な指導体制を考えていきたいと思ひます。

一つの学級を複数人体制で運営するチーム担任制の例



新学期のスタートにあたり、子どもたちはたくさんの期待と不安を抱きながら登校してきたことでしょう。「その子にとって大切なこと」を常に考えながら、職員一同、教育活動を進めてまいります。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。